

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 216-8511
住 所 川崎市宮前区菅生 2 丁目 16 番 1 号
氏 名 学校法人 聖マリアンナ医科大学 印
理事長 明 石 勝 也
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 10 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 聖マリアンナ医科大学		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市宮前区菅生 2 丁目 16 番 1 号		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	○	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	大学、病院		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		11,353 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	施設部 環境課
		所在地	川崎市宮前区菅生 2 丁目 16 番 1 号
	電話番号		044-977-8111
	FAX 番号		044-977-4989
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～平成24年度 (報告年度平成22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等）

（1）温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排 出 量	(実) 20,514 t-CO ₂ (調) 20,268	(実) 20,872 t-CO ₂ (調) 20,628	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 19,899 t-CO ₂ (調) 19,660
削 減 率		(実) -1.7 % (調) -1.8	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量	延床面積		単位	t-CO2/千㎡	
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値	138.5	140.9			134.3
削 減 率		-1.7 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	全体で空調、ボイラーの運転時間の見直しを行い、省エネに取り組んだが、夏期の著しい気温上昇により冷暖用ガスの消費量が増加し、1.7%の増加となった。
第 2 年度	
第 3 年度	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

年 1 %の削減目標に対し、今年度は法人全体で0.29%の増加だった。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	○推進体制の整備 (体制整備・責任者・委員会) ○空気調和の管理 (外気冷房運転) ○空気調和設備の効率管理 (熱源の台数運転) ○換気設備の効率管理 (電気室、機械室の換気の停止) ○照明設備の省エネルギー型設備の導入 (照明自動点滅器取付) ○照明設備の新設更新等における措置 (高効率ランプの採用・昼光の使用できる場所の別回路) ○ボイラーの負荷管理及び効率管理 (蒸気バルブの断熱) ○給湯設備の新設更新等における措置 (給湯局所式の導入) ○事務用機器の管理 (不必要時の電源切断省エネモードの利用)
	第1年度	○推進体制の整備 体制整備・責任者・委員会の設置 ○照明設備の省エネルギー型設備の導入 照明自動点滅器取付渡り廊下などに昼光センサーを取り付けた。 ○給湯設備の効率管理 給湯設備の新設更新等における措置 (給湯局所式の導入) を中止し給湯ポンプの運転時間を短縮したことにより個別給湯システムと同じ効果を得た。 ○空調運転時間の短縮、熱源機器の最小台数運転を行う。
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

昼光を利用した設備設計を行い再生可能エネルギー源の採用を検討する。

[illegible][illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. コージェネレーション導入によるエネルギー起源二酸化炭素の排出量を削減する 2. ライトダウンの参加 3. 法人単位でのクールビズの実施 4. CC川崎に参加 5. 廃棄物の減量化と分別収集を推進
第1年度	1. コージェネレーション導入によるエネルギー起源二酸化炭素の排出量を削減する 実績は別紙「コージェネレーション導入による削減効果」による 2. セタライトダウンに参加し、7月7日外灯を2時間消灯した 3. 法人単位でのクールビズで職員の軽装、啓発を行った 4. CC川崎委員会に参加し最新情報を得た 5. 廃棄物の減量化と分別収集を推進し、廃棄物の分別を徹底した
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	20,655	t-CO ₂
(調)	20,484	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
学校法人 聖マリアンナ医科大学	川崎市宮前区菅生2丁目16番1号	8161	大学	19,118 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
聖マリアンナ医科大学東横病院	川崎市中原区小杉町3-435	8311	一般病院	1,350 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数